

平成 31 年 2 月 8 日 基地周辺対策特別委員会 議事録
10 時 00 分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 網谷 芳孝
副委員長 賀屋 幸治
委員 北地 範久、山崎 年一、寺岡 公章、田中 実穂、山本 孝三
議長 児玉 朋也
副議長 細川 雅子

○欠席委員 (1人)

委員 藤井 馨

○網谷委員長 皆さん、おはようございます。

それでは定足数に達しておりますので、ただいまより基地周辺対策特別委員会を開会いたします。

それでは議事日程に従いまして、進めてまいりたいと思います。

日程1のほうでは先般、阿多田地区を訪問いたしまして、それに対しての御報告ということで、大竹市議会基地周辺対策特別委員会活動報告及び意見交換の報告をさせていただきたいと思います。そちらの報告は、委員長の私からさせていただきたいと思います。

それでは、先般1月19日に阿多田島訪問お疲れさまでした。

日時といたしましては、平成31年1月19日、10時20分から開会させていただきました。場所といたしましては、阿多田漁業協同組合3階のほうで行われました。

内容につきましては、艦載機移転完了に伴う騒音等の現状についての意見交換でございます。

そのときの出席者としましては、阿多田地区から19名ということでございます。大竹市議会基地周辺対策特別委員会のほうでは、7名ということで、委員長、副委員長、それから委員としまして、北地委員、山崎委員、田中委員、山本委員でございまして、欠席委員は藤井委員、寺岡委員でございます。傍聴議員として西村議員も傍聴されております。

それから、最初の挨拶といたしましては、自治会長からの挨拶となりました。その内容として、阿多田地区の住民は、戦後今でも大変騒音に悩まされてきたが、艦載機移転完了後の騒音が大変増大しており、特に高齢者にとっては大変厳しいものであり、島民が日々ほんとに健やかに暮らし、平穏がいつまでも保てるような、そのような意味合いのことを我々におっしゃられておりました。

私からは、今回の艦載機移駐完了、昨年3月の騒音増大に大変な負担と不安な生活環境におかれるということに議会としましても、大変心配しているところでございまして、今回皆さん方に意見などしっかり聞かせていただき、議会としての役割を最大限活用し、皆様方の生活環境の整備に努めてまいりたいということの意味合いのことを申し上げております。

次に、報告事項ということでございまして、2点ほど報告させていただきました。

1点は、岩国基地に隣接した大竹市に対する財政支援措置等の要望書、また昨年暮れの米軍海兵隊機の墜落事故に伴うこととでございます。こちらの報告を賀屋副委員長のほうからさせていただきました。今回の要望書は主に岩国基地に隣接した大竹市に対する財政措置等の要望書については、主には再編交付金の時限立法の期限が迫っている中、それ以降の財政支援措置に対する新たな交付金制度の創設、また騒音対策としてできるだけ阿多田島上空を避け、高度を上げ、住宅地から離隔距離をとり騒音低減を図るよう、昨年9月27・28日に議長、私、副委員長により各省庁に要望書の提出をしたものという内容のものを報告させていただきました。

それから2点目は、岩国基地所属のアメリカ海兵隊機の墜落事故に関する要請書ということで、昨年11月12日に岩国基地所属のアメリカ海軍空母艦載機が沖縄で墜落した事故に続き、12月6日にはアメリカ海兵隊岩国基地所属のF A-18戦闘攻撃機とKC-130空中油機が四国沖で接触、墜落事故を起こし1名の死亡、5名の安否が不明の事故が起きたことに対し、原因究明や安全対策等に十分な説明があるまで、同型機の飛行を停止するよう大竹市長が米側に申し入れるよう国に要請したという内容のものを報告させていただきました。

以上の報告に対し、地域の住民の方からは質問等はございませんでした。

次に、概要といたしましては、平成18年の日米両政府が、空母艦載機約60機の岩国基地移転及び普天間飛行場の名護市辺野古沖への移設等を含む在日米軍再編計画に合意し、昨年3月厚木基地より岩国基地への移転が完了したことにより、大竹市で最も騒音被害を受けている阿多田地区において、意見交換及び聞き取り調査の実施を行ったものでございます。

次に、今回のメインでございます意見交換会また、聞き取り調査のほうに移させていただきました。最初に地域の住民の方からは、騒音については地域の住民は大変な我慢をしていることは皆さん御承知と思いますが、今一番の課題と申しますか心配は、現在のフェリーは耐用年数が過ぎており、16年目に入っているということで、建造方法としては、再編交付金の活用または運賃の上昇にならないような建造方法を考えていただきたいという趣旨のことを申されております。

それに対して私から、フェリー建造については委員会等で執行部に質問したところ、口頭ではありますが、前向きな答弁をいただいていると回答しています。

それに続き北地委員からは、フェリー建造は幾らくらいかかるんかという趣旨の、相手の方は地域住民といいながら、離島振興協議会の会長が出席されていたので逆に質問しましたところ、フェリーの建造費は2億円ぐらいだったと思う。次に建造する場合、いろいろな諸事情を勘案すると、2億円から4億円ぐらいはかかるんじゃないかという説明を受けました。

それから、次の方の質問からしますと、このような意見交換は、定期的でなくとも、継続してほしいというほんとに前向きな意見がございまして、またこの委員会の目的は、交付金なのか振興策が主なのか、地域の住民として喫緊の課題はフェリー問題、安心安全対

策であるという趣旨のことを我々に訴えておられました。

それに対し、賀屋副委員長からは、意見交換の継続は、委員会としても願っている。目的としては、安心安全対策はもちろんのことであるが、交付金制度の延長、創設については二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の中でも一緒に取り組んでいくということで採択されており、振興策についても防衛省、中国四国防衛局に訪問の際、具体的な要望を上げて頂かないと協力のしようがないということで、これからの課題になると説明されています。

田中委員のほうからは、阿多田地区が今までもそうだが、特に移駐後は騒音の増大により大変迷惑を受けていることは承知している。これからも特に安心安全対策または要望については訴え続けることが大事であるということを説明されています。

また地域住民の方からの質問でございます。これ女性の方だったと思いますが、委員さんにはほかの集会等では、阿多田地区の事情等の説明をしてほしいという趣旨のことを言われております。また議会だよりの中に阿多田地区のことが、余り載っていないという具体的なこともおっしゃられておりました。それから要望書等を提出する場合、阿多田地区代表者の連名はできないのかというようなことの趣旨を我々に質問されておまして、賀屋副委員長のほうから、市民の皆さんが阿多田地区に多くの交付金が使われているという誤解をしているなら説明する必要があるということで、先ほどの質問の中でほかの委員さんには、ほかの集会所で阿多田地区の事情などというのは、とれる意味合いが本土の市民の方は、交付金が阿多田島に大変多く使われてないかという誤解が生じてるんじゃないかというようなことを言われたので、賀屋副委員長のこういう答弁になったと思います。

また北地委員からは、議会だよりは各地区の項目を個別に載せるということは、難しいのではないのかということの趣旨のことをおっしゃられておりました。

また私からは、要望書等への阿多田地区の代表者名の連名は、ここでの即答はできないが、協議する必要があるのではないかとすることを発言させていただきました。

それから山本委員からは、阿多田地区に関連する基地問題に関する騒音、また落下物、または日米地位協定等の問題提起は、一般質問の中で年に何度か執行部に対し質問している。それからまた、海の家あたりの利用促進に努める必要があるのではないかと趣旨のことも発言されております。

それから山崎委員からは、フェリー建造の件は市長も考えていると思うが、今後も機会あるごとに詰めていく必要がある。再編交付金の使い方を阿多田地区にもっとふやすことが大事であり、そのためにも振興策の具体策が必要であり、阿多田地区の皆さんがもっと声を上げることが大事であるということを発言されておられます。

感想としまして私から、これからの活動方針としましては、2月中に、阿多田地区の総会が行われる予定とのことでございます。今回の意見交換会で話し合われたフェリー建造・安心安全対策・地域振興策等々の意見聴取を行うとのことですので、委員会としましても、そちらの結果等をお知らせいただきまして、大竹市全体の地域振興策、または、安全対策の要望書等の検討に向けて取り組んでいけたらと思います。

以上、簡単ではございますが、時間にしましては10時20分から12時ちょうどまでの意見

交換会でした。それにつきまして以上でございますが、ということで、皆さん何かここは、こんなこと言うちよおらん、ここは、こういうことを言うのとかいうことがございましたら、ぜひ発言していただいたらと思います。

なければ、何かあります。

北地委員。

○北地委員 細かいことですが、2ページ目の下から4行目、再編交付金の活用、または運賃の上昇にならない建造方法を考えてください。このまたはは、及びじゃないのかなと思いますけども。二者択一じゃないと思うんですけど。

○網谷委員長 2ページ目。

○北地委員 2ページ目になりますね。下から4行目、またはになると、どっかいう話になるんで、及びになると思うんですけども。

○網谷委員長 及びね。

○北地委員 両方やってほしいというような。

それから3ページ目、上から8行目、このような意見交換会は、定期的でなくとも継続してほしいという表現がよくわからんのですけども、定期的でなく継続してほしい、ともをとったらいんじゃないかと思います。

○網谷委員長 定期的でなくとも。

○北地委員 なくともという表現がよくわかんない。

○網谷委員長 なくともは。

○北地委員 ともを消す。細かい話になりますが。

それから最後の感想の部分ですけども、4ページ目、阿多田地区の総会というのは何の総会かよくわからんので、自治会総会と言われたと思うんですけども、そこ入れとったほうがいいかなというような細かい部分ではございますけれども、以上でございます。

○網谷委員長 自治会総会ということですね。ありがとうございます。

ほかにもございますか。

副委員長。

○賀屋委員 先ほどの、北地委員の2点目の定期的でなくともという表現なんですけど、これは定期的に開催しなくともいいけども、こういう会を継続してくれと、そういう意味で言われた方ということで、ここで文章に表現の足りない部分があるかもわかりませんが、私はそういうふうにとったんで。

○北地委員 わかりました、了解です。

○賀屋委員 定期的でなくともということになると、今までの定期的、何月と何月にやりよったんかということで理解をして。定期的でなくてもよいがという、そういう意味合いだったと思うんですが。

○網谷委員長 今の意見に対しまして、及ぶと最後に阿多田地区を自治会総会ということですね。あれで皆さんよろしいでしょうか。よろしければそういうふうに修正させていただきます。

ほかにもありませんか。

山崎委員。

○山崎委員 問題なのは、これまあやったわけですよ。

○網谷委員長 何です。

○山崎委員 意見交換会やったわけですよ。問題は、これからどうするんかということが大事なんで、そこをしっかりと詰めとかんと。これをもとにして、今後どう進めていくのかというところをしっかりと詰める必要があると思うんですが。

○網谷委員長 今それを、そのほかの日程2のほうでどうしたらいいかなと思いましたんですが。

○山崎委員 そうか、はい。

○網谷委員長 日程1のほうはよろしいですね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは次に、日程2のその他にまいりたいと思います。

山崎委員が言われましたようにその他としましては、今後余り時間もないんですが、スケジュール的なものも含めて皆様の意見を聞きたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

先ほどの、報告書の中でも述べておりますが、今月中に阿多田地区自治会総会が開かれるということは、今回の意見交換会の中で、阿多田地区の方が述べられておまして、その中で阿多田地区の皆さんの要望、または振興策がそのときの意見交換の中の話では、今月中にある地区の委員の方から、阿多田地区内の話になろうかと思うんですが、ある一人の地区の方がちょうど1月に、来月総会があるということで、ここで住民の皆さんの意見を集合してそれをまとめたかどうかという、自治会の中の話として、我々にもお知らせしていただいたという経緯がございまして、ということは時期も1カ月そこらでございまして。その総会の地域の皆さんの意見、早い話が、先ほど皆さんにお伝えしたとおり、一番の課題はフェリーの建造の問題が直ちに出ろうかと思いますが、それから安心安全のこれはどういう要望が出るか、また振興策についてもという言葉も出ておりますので、そういう意見を我々議会といたしましても、お示しいただきまして、それによって、また我々もその阿多田地区の意見を取り込みまして、大竹市全体の安心安全対策、またはこれから主には振興策という流れになろうかとは思いますが、そういう協議に移りたいと思います。そのような考えを副委員長と、この間打ち合わせをしたところで、今私が述べましたようなことでよろしいでしょうか。

山本委員。

○山本委員 前々回の委員会だったと思うんですが、例の防衛省に議会としての意見書を上げた議論の過程で、それはそれとして多数で要望書は議会として提出するということになったんですが、その際に基本的な問題としては、やっぱり最近の米軍の飛行訓練に伴う騒音はもちろんなんですが、落下物だとかそれから低空飛行による市民への被害とか、特に家庭でひとり暮らしで、介護認定を受けたような方が臥せておられる状況のもとで、騒音がますます頻繁に発生して難渋しているということを含めて、この間の方との皆さんの意見の中にも、そういうことが訴えられておると思うんです。今は、阿多田島だけでなしに、

私も新町の川土手筋に住まいをしておりますので、ほれはもう夜の10時とか11時になっても、米軍の騒音というのは、ひどいときにはテレビの画面が揺れるぐらい大きな音を出して訓練するという状況があるわけです。ですから、今後ますますそういう状況は、阿多田島だけでなしにこの沿岸部、特に大竹市はもうほとんどがあるでしょ、岩国基地の方向に面した地形ですから、そこには学校もあるし、保育所もあるし、病院もあるし、地域全体がいわば危険な状況に置かれつつあるという認識をまず持って、その上で事故防止・騒音防止ということをどう実践していくのかということを考えるべきだと。

そういう意味では、私がやっぱり市民の安心安全、これを第一義的に委員会としても基本的な取り組むべき課題として位置づけをすべきだと。困れば困るだけ交付金をくれないやというような姿勢に見られても困るんで、そうじゃなくて基本的な安心安全の確保をどうするんかということ、やっぱり市民の目にもわかるように我々の活動がされるべきだということ、前々回の委員会でも私はるる申し上げて、その場では今後の課題としては、安心安全問題に対しての取り組みをしようというふうな意向のまとめがされた思っています。そういう意味では私は今、全国知事会でもそうですが、山口県も岩国市の市町も、日米地位協定の抜本的な改定に取り組む必要があると、そういう時期に来てるんじゃないかというふうなことを新聞紙面上では見る限り発言もされておるようですが、もう既に全国知事会も一部地位協定の抜本的な改定をすべきだと。60年間もこれは改定されておらんわけですから、そういうことにちゃんと委員会としても目を向けて市民の安心安全を第一義的に取り組むべき課題として位置づけた議論をこういう機会に我々が大いに取り組むべきではないかと思うんですが、そういったことでここに私がもらってる資料の中に、米軍再編交付金の総括表というのがね、委員の皆さんもお承知だと思うんです。この中に、これは日米地位協定の問題とも関連するんですが、阿多田島の被害に対する特別の手当というのはほとんどないんです。阿多田島で遵守されることは、全市的に市民が財政上の交付金の恩恵を受けるというこの事業になつとるんで、だから特別に阿多田島のためにこうするということは、この項目を見る限りありません。あえて言えば、漁業振興のために補助金を出しているというのがあるんですが、これは阿多田島だけじゃなしに玖波地区にもそういう措置が私はとられていると思うんです。ですから、交付金策自体は被害を受けるから出すんだというのが国の考え方の基本なんよね。だとすれば、被害を受けている阿多田島の皆さんに何をどうするかということで交付金の使途が議会でも議論されて事業の具体化の上で、財源措置が必要ならまず交付金を使ってでも阿多田島の皆さんの要望実現のための使い方をしようじゃないかという議論があってしかるべきなんです。平成19年から平成30年まで項目を見てもろたらわかるが、騒音で困っている、日常的に米軍の飛行訓練のために不安を抱えて生活をしているそういう島民の皆さんのために、特別に交付金を使って、こうした、ああしたというのはありませんよ。ここに書かれとる事業というのは、全市の市民の皆さんに恩恵を与える事業になつとります。

そういうことも認識した上で、先ほども報告がありましたようにフェリーの問題にせよ、漁業振興の問題にせよ留意しながら、安心安全対策のための取り組みを強めていくということ、具体的に議論した上で、できれば新年度予算でそういうことを執行部に申し入れす

るなりすべきではないかと思うんですが、私の言わんとすることがわかってもらえたかどうかあれですが、そういうことで1つ委員会の運営のあり方も考えてもらいたいと思うんですが。

○網谷委員長 ありがとうございます。

今、山本委員が言われたことはごもっともでございます。そのためには、この前の意見交換会の中でも阿多田島の方が心配というか誤解されているというか、こちらの本土の方が誤解したのかよくわかりませんが、阿多田島の方の認識では、交付金のかなりの部分を阿多田島に使われているのではないかということは、阿多田島の方の住民の方には耳に入るとということで、それを心配されてるということで、先ほどの私が読みました文書の中にもほかの議員さんがほかの会議の中でも、その辺のところの説明してほしいということの要望的なものがございまして、そのときの意見交換の中では阿多田地区には1割強ですか、十何%のことで、これを多いと見るか、少ないと見るかはまた別問題でございまして、その辺のところの協議ももちろんこれからは出てくるかと思えます。

それから、先ほども時間がないと申しましたが、安心安全面という山本委員の御意見ございましたが、これは今、文書の中にも副委員長の言葉の中にも説明の中にもございまして、安心安全対策はもちろんのことと文書には入れておりますんで、おととの要望書の中には安心安全また事故、その他のことがメインに要望書の中に書かれております。去年の分は主には再編交付金の延長の問題、それで次に、これはいつになるかわかりませんが、時間的な問題もございしますが、振興策ということに重きを置いてはどうかという、この委員会の中での話はそこまで来とるんですが、ただそれに具体的に入るときに、委員会の中でもう一度確認しないといけないことでないかと、私自身は思っております。次の要望書に関して、振興策についてどのぐらいのスペースをとるのか、また、安心安全対策についてどれだけのスペースをとるか。それから、再編交付金の延長問題もございまして、そういう問題について、要望書での次の比重の持っていく方というのはまた次の具体的に進める中で決めていけばいいことなので、これを次は振興策に完全に重きを置くとかそういう問題ではないので、まだまだ協議する余地はあるのではないかと私自身は今の時点では思っております。

以上です。

何かそれについてあれば。

副委員長。

○賀屋委員 安心安全対策ということはもちろんでございます。その中で、先般、二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の総会が平成31年1月18日ありましたけども、その中で提供されました資料の中に山口県が政府要望として出しとる要望内容の中に、ちゃんと航空機の運用に関して岩国日米協議会における確認事項等の厳守や、住民生活への影響が大きい訓練の事前通知、飛行実施の把握など地域住民の不安解消に向けた措置を実施してくれということで、先ほど山本委員もおっしゃってました日米地域協定の見直しに一步踏み込んだ要望も今から岩国市も山口県としてもやってくるんだろうと思います。そことやはり足並みをそろえていく必要があるのかなと思いますので、この二市二町岩国基地問題に

関する議員連盟の動向を踏まえながら一緒に取り組みを、情報交換を経ながらしていったらいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

山崎委員。

○山崎委員 今先ほど来、日米地位協定の問題が議論になってます。二市二町岩国基地問題に関する議員連盟でもそういう方向で取り扱いたいというような方向があるみたいなんです。大竹市は岩国基地の膝元で岩国市に次いで被害をこうむるところ。そういった意味においては、全国知事会が地域協定の見直しに触れとるように、やっぱりお膝元の大竹市議会としても日米地位協定の見直しについて、意見書なり要望書なりを組合に上げていけるということが大切なんじゃないかと。もちろん、それをすることで交付金を要らんという意味で言っとるんじゃないくて、交付金は交付金としてきちっと制度として補償してもらわならんけれども、やっぱり基地があるための負担を地域住民が負うとるところについては、日米地位協定の問題がかなり大きいウエートを占めておりますんで、そのことについては大竹市議会としてもそういう申し入れをしていくという姿勢が必要じゃないかと思うのが1点。

もう1点は、例の阿多田島の問題であります。実は前回のときも自治会として要望書を出すとかそういう話があったわけね。結局その後ぼしかったわけ。また今回になって、自治会として要望書が出るという話は自治会長さんがおっしゃったわけじゃないけども、意見交換会の中では出てきたけれども、問題はそれが成就しよるのかどうか。進みよるのかどうかは私は非常に心配しとるんです。今までの経過からいくと、なかなかそのことは要望書として挙がってこない、個々の意見は出るんだけど、自治会としての要望書として挙がってこないという、非常に地元の皆さんの混迷があるような気がするんです。そういったことと議会としてもあそこまでいって、意見交換会を計画したわけですから、アドバイスをするとか方向性を導いてあげるとかいうことが必要なんじゃないかと思うんです。黙っとって、あんたらが出しんさいや、出さんにや事にならんよという格好でほったらかしとくと、結局、意見交換会以降、私は阿多田島へ1回行きました。話を聞いてみると、行ったってしょうがないよと同じことしか言いもせんし、言うても聞いちゃくれんと、言うだけじゃと。それなら行かんほうがええけん、行かんかったという意見がやっぱりあるんです。ほんで何ぼ言うても聞いちゃくれんということで、諦めムードといいましようか、もちろん私個人に不満があるんかもわかりませんが、議員に対しての不満というのがあるんかもわかりませんが、そういった何となく阿多田島の皆さんが諦めムードというような気は私はするんです。そういった点私よりは、網谷委員長やら他の議員の方がいろんな関係の方がいらっやって、情報がよく入っている部分もあるかと思うんですが、その辺の意見交換を少ししてもらって、今後自治会にどうリードしていくかという形の方法をつくっていかんと議会が行くことがいい結果が出んという格好になって、何となく心配をしとるんであります。そこらについてはよく御存じの阿多田島に詳しい方、どういふふうに感じてらっしゃるかを意見交換させてもらったらと思います。

○網谷委員長 副委員長。

○賀屋委員 確かに山崎委員言われるように、いろんな意見持っとしても公の場で発言したり、それがまた議論されて阿多田島の中で意見集約がされていくかということになりますと、非常に心配な面もあると思います。

しかし、この前意見交換会をした雰囲気としたら、私はある程度意見が出てくるんだろうと、それの中でまとまるかどうかわかりませんが、意見というのが例えば3つか5つか出るかもわかりませんが、その出たものをまとめてこちらへ上げてくれれば一番いいんですけど、そこまでいかなかったとしたら、不定期でもいいんで、意見交換会を継続してくれということなんで、その後どうなりましたか、阿多田島としての意見はどういうなんが出ましたかという逆にこちらから問いかけをして、またそのことについての意見交換会を阿多田島のほうへ行ってさせてもらって、そういう意見が出たんですか、こういうのがあったんですかというんで、全くこれがいいんですかという逆にその支援ができるような提案があるとしたら、それを皆さんでもう一回意見を集約し直して、これをまとめてこういう形で出されたらいいんじゃないですかというような話を意見交換会で再度進めていくというような形で、何回もそれを繰り返していけば阿多田島の方も真剣に議会も前向いてくれてるんだなという理解はしていただけるんじゃないかと思います。

そうすると今まで何ぼ言うてもだめじゃけんと言って、諦めとった方もいろんないい意見をお持ちの方もおられるでしょうから、そういう方も参加してくれるようになるでしょうし、それで阿多田島全体としての意見集約がうまくまとまれば、それこそ阿多田島の振興策として要望を上げていくということが可能になるんじゃないだろうと思うんですが、確かに他人まかせに阿多田島のほうでとにかく考えて上げてくれとって、投げておったんじゃないことに今までもなっていないんで、それは難しいんじゃないかなというふうに思いますんで、今後の取り組みとしては、この2月の自治会総会でもし意見がまとまって挙がってくればいいんですが、こなかったときにもう一回、阿多田島のほうへ行くという、行ってどういう話がされたんですかということを含めて、意見交換をもう一回していくということがいいんじゃないかなと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

以上のようなスケジュールといいませんが、ただ今、この時点では先ほど申しましたように、今月中に阿多田区自治会総会があるというのは確かでございますので、その中で前回の意見交換会の中でいろんな意見を出してみようというような言葉も聞いておりますんで、まずはこの総会の流れを見ていきまして、我々委員会としましては、出ればそれを踏まえてまた皆様と一緒に協議したいと思います。出なければ、こちらから強制するわけにもいきませんので、それはそれなりのまた委員会の持っていく方がございますんで、今の時点では私としましては阿多田地区の阿多田区自治会総会のまとまりを伺いまして、それを全部私が阿多田地区100%のことをというふうには、先ほど山本委員も発言の中にございまして、大竹市全体の振興策として考えていかねばなりませんので、このことを踏まえて皆様とまた次回の委員会で協議してまいりたいと思うのですが、きょうのところは私はそういう考えでございますが、いやそうじゃない、まだこれは詰めとかないけんとか

いう意見がございましたら、言っていただけたら。

寺岡委員。

○寺岡委員 詰めとかないといけないというわけじゃないんですが、阿多田島に目を向けていくというには、これまでの委員会の流れの中で交付金、一番被害を受けているところで交付金が国からおりてくる根拠になっている場所ということでわかるんですが、この委員会の取り組みそのものが執行部がすべき部分に若干入り込み過ぎてるかなという感があるんです。ですんで、確かに住民の皆さんの現状を理解、把握するというのは大変大事なことで、ニーズをちゃんとわかった上で行動するというのはわかるんですが、その後議会としての役割というのが、どの立ち位置でどの方向に向いているかが若干あやふやになってきてるかなという感があります。ですんで、そんなに長い時間とらなくていいので、立ちどまって整理をするというのも大事かなと思っております。この委員会をですね。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。

確かに行き過ぎと言え、そういう意味にとられるかもわかりません。ただ、そのためにこの前いつだったか、年末に執行部と、副市長また総務部の方とお話させていただきました。ある程度委員会としてといますか、議会としてまとまったものができたその時点で、また机の上に並べていただきまして、協議していただいたらというふうな流れで前回の執行部との会合の中では終わるとる時点でございますんで、ある程度のところは我々議会としても、たたき台はつくってもいいんじゃないかと私は解釈でございますが、どうでしょう。副委員長、何かその件についてございましたら。

副委員長。

○賀屋委員 振興策の話になりますと、やはり議会だけでそれを取りまとめをして要望書なり形にするというのは非常に困難といいますか、議会と執行部が同じ方向を向いていないと議会だけがこういう事業やってくれというんで要望書をつくったときに、国から見ると市はどう考えているんですかという話になるんで、その辺はしっかりすり合わせをして、振興策という形で要望なり出すとしたら、市と議長と連名で出していくというのが筋だろうと思いますんで、そういう意味で執行部と考え方のすり合わせを年末にしたわけですけども、執行部としたら議会のほうがどういうことを考えて振興策として提案されるのかということについて執行部としてそれをとめる権限もつもりもないと。しかし、基本的には第五次大竹市総合計画に沿った、いわゆる優先順位をつけた中で、それを振興策として上げていくということで理解はしているということでございました。ということの中で、第五次大竹市総合計画の中での重点事業のどれを振興策として上げるのかというのは、やはり執行部のほうとのすり合わせをしていかないけませんし、また阿多田地区のほうの新たな振興策というものが、阿多田地区として要望がまとまるとしたら、それは新たな事業なんで、そのことはやはりこの委員会としてもどういうふうにそれを支援するのか、それを執行部のほうにどう伝えていくのかというまた作業が出てくると思うんですけども、そのことも踏まえて最終的には振興策を要望という形にするということになれば、執行部とのすり合わせをなしで単独でやっていくということにはできないというふうに考えてますんで、

そのあたり含めて時間はかかるかと思いますが、しっかり阿多田地区の要望あるいは、市が抱えとる振興策として取り上げていただける同じ方向を向いて取り組みができるものをできるだけ一緒になってやっていければいいんじゃないかなと思います。

○網谷委員長 寺岡委員。

○寺岡委員 繰り返しになりますけど、阿多田島に関してこの委員会が注目するのはこれまでの流れの中では当然であると。島民の皆さんの生活向上、福祉向上のために何かお手伝いがしたいというのは、恐らく委員の皆さん共通の思いだと思います。

ただ、その我々の行為一つ一つが、恐らくこれから何十年、何百年というふうが続く阿多田島の文化風土に手を加えるということになると思いますので、正しい例えの言いようはどうかわかりませんが、宮島競艇が大変景気がよかったころに、年に何億も補助金もらって、大竹市の要はサービスしてもらったときの市民の気持ちがどういうふうになったか、少し上ずったところもあったかなというふうな、バブルのような感じもあったかなというふうなこれは感想に近いんですけども。ですから、私たちの手を加えるときも、阿多田島の文化風土というのは考えていくべきかなと思います。余り深い意味はありませんが、感想です、お願いします。

○網谷委員長 ありがとうございます。

ということで、大まかなことはやっぱり騒音問題ということになりますと、阿多田地区を避けて通れませんので、大部分の阿多田地区の方が負担と不安を感じているということでございますので、かといってどれだけの比重を阿多田地区に置くかということもこれから皆さんとの協議の中にあろうかと思えますし、そのようなことでまずは一番被害をこうむってらっしゃる方の意見を聞きまして、それから大竹市全体の振興策または安心安全対策全体のことを我々議会として、また委員会として考えていけたらと思います。

ということで、ここ一、二カ月先の今のスケジュールでございますが、それから議会といますか我々も今回任期が間近に迫ってる状態でございます。この委員会の中でもいろいろな時間的な問題もございますので、次回の委員会では今の阿多田地区の意見の取りまとめなんかできれば、それについて協議してまいり、また4月、5月につきましては、もうこの委員会として、結果を出さなければならぬ時期になろうかと思えますので、一応報告の作成も視野に入ってきますので、最終的には6月議会で報告するという流れになろうかと思えますので、その後のスケジュール的なものでございますが、よろしいでございましょうか。

山本委員。

○山本委員 先ほど来の議論の中で、阿多田地区の振興策とか、安心安全対策に関する全市民的な不安解消とかいうふうな基本的な問題について、確かに日米地位協定の改定というふうなことは、大竹市だけの議会が議決をして要望したところで、そんなに大きな力にはなり得んわけですが、関連する市長さんとの協議も積極的に呼びかけなり申し入れをするということを前提にしながら、基地周辺の市民の皆さんの安心安全確保のために、日米地位協定の改定に向けての取り組みをしていくことを確認してもらいたいということと、それから、具体的に阿多田地区の振興策の1つとしてここに報告書があるように、島の皆

さんの大きな課題としては、フェリーの新造というんですか、これを早期に予定して財源措置も含めた見通しを持った市の取り組みをしてほしいんだということがこないだの会合のときに出ましたよね。その会合終わって、帰りの船の中でもお年寄りやら現役の人を含めていろいろ待合室で帰る途中にいろいろ意見が出ました。

それで今から取り組んでも3年にかかるんだと、だからもたもたしよったら、財源措置も難しくなろうと。だからせめて新年度で調査費くらい組むように議会でやってほしいやという意見がありました。だからせめてそのぐらいのことは、委員会として、新年度予算の今、編成過程で、印刷にもまだ回しとらん思うんですが、調査費といえはそんなに多額のものじゃありませんから阿多田地区の皆さんのこないだの意見交換会の要望を踏まえて、委員会としてせめて執行部に正副委員長なり議長もここにおられるんで、新年度にフェリーの新造の調査費くらい組んでもらえんかということの申し入れぐらひはされてもえんじやないんか思うて、また委員会としてもそれぐらいのことは要望者が出ないとか、陳情者が出ないという問題じゃないと思うんです。そういったことを含めて委員会としてのやっぱり取り組みを具体的に市民の皆さんにも目に見えるようにすべきではないかということをお私は思うんですが、できればそうしてほしいんですがね。

○網谷委員長 副委員長。

○賀屋委員 今から予算特別委員会も開かれるでしょうし、この基地周辺対策特別委員会も会期中にはありますんで、その中でしっかりこのフェリー建造の件についてどのような考えなのか、どういう対応なのか、予算としてはどうなのかということはこの委員会としても確認をする必要はあるんだろうと思います。

仮に新年度予算の中にその調査費等がもし抜けてるとしたらまだわかりませんが、もらっていないんで。抜けてるとしたら今回のことを受けて、改めて建造に向けてスケジュールを引いたときに、いつ調査したらいいのか、幾らぐらいかかるのか、その裏づけはどうなのかということも含めて、先ほど言いました予算特別委員会なり基地周辺対策特別委員会の場で確認をするということは可能ではないかなと思います。

○網谷委員長 山本委員の質問に対して、副委員長が答える形になったんですが、そういう方向でよろしいでしょうか。

○賀屋委員 済みません、もう一遍。

○網谷委員長 副委員長。

○賀屋委員 まだ確認はしてないんですけど、阿多田地区での意見交換会のときに、要望書をもう提出したというふうな話がありました。市のほうに要望書を出したんだろうと思うんですけども、議会のほうには挙がってきてないんですよ。現物がどういう中身なのかというのを確認してないと思うんですけども、そのあたりも含めて、まだ出してないんですかね。これから出すというんですかね。

○網谷委員長 この最近出しとらん。

暫時休憩します。

10時59分 休憩

11時4分 再開

○網谷委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

今、議長のほうから確認だけはしてみようということでした。よろしいでしょうか。

よろしくをお願いします。

ほかに何かあれば。

山崎委員。

○山崎委員 さっきの日米地位協定の抜本的に見直しの件、あれは続いてこの基地周辺対策特別委員会で協議するとかいうことにはしてもらえんのじゃろうか。

○網谷委員長 皆さんの意見を諮ってみたいんですが、ただ日米地位協定を委員長として発言していいのかわかりませんが、国の根幹にかかわる問題であり、全国的にもこういう意見が出るとのは確認しておりますが、これを大竹市議会として意見書として上げるのか、そういう意味のことを山崎委員が言われとるということですよ。

○山崎委員 上げるのかどうかということを、この委員会で検討してもらおうというのが、日米地位協定の問題はさっきからも出るとし、二市二町岩国基地問題に関する議員連盟のほうも検討してらっしゃるといことなんで、検討する価値はあると思うんです。続いてそういったことは、別にそれを出したからどうこうということではなくて、基地のお膝元の大竹市がそのことに黙つとることのほうが、私はむしろなんか釈然としないものがある、むしろ自分らからこそ、日米地位協定の申し入れはしたらどうかと、全国知事会の要請でもあるわけですから、そのことが別に日本の国防に相反する問題でもないし、そういった意味で前向きにこの基地周辺対策特別委員会ですから、検討してもらったらどうかということをお願いをしよるんです。

○網谷委員長 この日程2はその他でございますんで、いろんな課題が挙がってこようかと思いますが、その件に関しまして副委員長説明をお願いします。

副委員長。

○賀屋委員 済みません。大変大事な話だと思います。

さっき申し上げましたように、二市二町岩国基地問題に関する議員連盟のほうでもこのテーマについては今後取り組んでいく方向だと聞いておりますんで、そちらのほうと足並みをやはりそろえながら、情報交換しながら、どういう内容で要望していくのか、中身をいつ整理するのか、そこら辺も含めてこの委員会でも情報を皆さんのほうと共有しながらどういう整理の仕方をしていくかということは、テーマに挙げていくべきだろうと思います。

○網谷委員長 山崎委員。

○山崎委員 二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の方向を見ながらというお話でした。確かにそれは大切なことかも知れませんが、少なくとも大竹市議会は議会として独立したものでありますから、何も二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の動向を尊重する必要はないと思うんであります。むしろ、大竹市議会の動向を二市二町岩国基地問題に関する議員連盟がそんたくするということのほうが、私は正しいんだろうと思うんです。そういった意味では、岩国市議会もそうだと思うんでありますけども、やっぱり大竹市議会は、大竹市議会としてこの日米地位協定については取り組んでいくということのほうが私は大

切である。二市二町岩国基地問題に関する議員連盟は取り組まれるか、取り組まれんかいうのは、それは二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の問題であって、むしろ私は大竹市議会のほうが中心になって、その問題について積極的に取り組むべきだと考えております。

○網谷委員長 副委員長。

○賀屋委員 そういった大竹市議会の意見も二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の中に反映させていって、二市二町岩国基地問題に関する議員連盟としてほんじゃ一緒に取り組もうという形で足並みをそろえていかないと、大竹市だけが浮いた形になって、いわゆる連携ができないということのほうが逆にマイナス面が多いんじゃないかなと思います。二市二町岩国基地問題に関する議員連盟の中にメンバーおりますから、そのほうへ向いて大竹市としては、議会としては、こういうふうな意見が出て、こういう取り組みをしようということなんで、一緒にお願いしますということで連携を強めていければと思います。

○網谷委員長 山本委員。

○山本委員 私の思いを述べさせてもらいます。既に全国知事会が政府に要望書上げとるわけよね。だからまずこの委員会としても、何で日米地域協定が基地周辺の皆さんを初め、基地が置かれとる自治体の皆さんのこの要望なり不安なり抱えながらも現状がなかなか改善されないのかということ踏まえて、全国知事会がそういう要望書を出したわけですから、まずその委員会としてもこの知事会の要望書なるものを、中身をよく認識する必要があると思う。何が問題、どこが問題なんかいうことを知らなければ、改善をせいとかどうとか言うても、なかなか的を射た議論にならんわけで、全国知事会がこういう内容で要望書を出されたいことのその要望書それ自体を知るということから始めて、またその岩国基地を中心にした自治体関連の二市二町岩国基地問題に関する議員連盟もあるし、住民団体もおられるし、行政機関もそういう声を上げておられるわけですから、そういうことを1つ情報を集めて、どこに問題があって、どこを改善する気だというようなことを認識しなければ、要望書上げるということにもならんわけで、だからぜひ委員会として議論の場としてかた苦しいあれでなくても、勉強会でもということでもいいですから、まずそこから1つ取り組んだらどうか思うんですが。日米地域協定はどこに問題があって、どこをこういうふうに変更してもらいたいんだということを我々自身が知らなければ、またそれを共有しなければ、物事は前へ進まんわけですから、形は勉強会でもいいですから。まず全国知事会の要望書なるもんから知るということをやったらどうですか。

○網谷委員長 ありがとうございます。

そのようなことで、日米安全保障にかかわるような問題でございますので、やはりきょうこの場で結論を出すというのは大変難しい問題だとは思っていますので、次回また協議できたらと思います。

そのようなことでよろしいでしょうか。この問題につきましては、きょうのところは、何かあります。

○山本委員 議会も検討するということですが、まず1つは全国知事会の要望書を資料として正副委員長のほうで用意してもらいたいんと、それからもちの自治体の長なり住民

団体がそういう要望を出されたりしてる事例もあるわけですから、できるだけそういう情報なり資料を集めてもらって、参考に委員会にも議論が深まるような1つ取り組みをしてもらいたいと思うんですが、そのことをお願いしたいです。そうしなければ何もないのに、あれこれ言うてもなかなか始まんから。

○網谷委員長 田中委員。

○田中委員 今、山本委員がいわゆる日米地位協定を勉強するということについては、それは大事なことで、それは正解やと。やっぱり一議会在日米地域協定に関して、こうだああだというようなそういう問題では私はないと思うんです。現に、全国県知事会とかそういうところ要望があって、国のほうに出されて、国のほうも今そういうことを日米地域協定については、しっかりと考えていらっしゃるということは皆さん御存じだと思うんです。それを、大竹市とか、一議会在日米地位協定のことについて勉強することは、そりゃ必要でしょうし、したほうがいいと思います。そのことについて、日米地位協定について意見書とかどうのこうのとそういうことは、私はそれは立つ位置が全く違うと思います。

以上。

○網谷委員長 ありがとうございます。

寺岡委員。

○寺岡委員 私も田中委員と意見は近いんですけども、さっきまで阿多田島の話をしていて、やはり地方議会の委員会として、エネルギーをどのように割くのか。さっき発言させていただいたこの委員会の立ち位置であったり方向性というのは、やはりぼやけているのかなと改めて感じましたので、資料を準備するのはいいんですけど、どの辺までこの基地周辺対策特別委員会で取り上げていくのかというのは、委員長しっかり整理をして進めていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○網谷委員長 ありがとうございます。

○山本委員 あれが出るでしょう、毎月、議会旬報が。全国市議会議長会の。あれに全国の議会が何を決議して、関係機関に要望を上げたとか、陳情を上げたとかいうのが出るんで、あの中に自治体のものが随分あるんじゃないか。田中委員言われるように一議会在日米地位協定について改定すべきだという要望書、決議して上げたというような報告数字が載っかります。その何月何日号じゃいうことまで私も覚えとらんが。

○網谷委員長 大変貴重な意見で、尊重したいところですが、ただし、田中委員、寺岡委員も言われたように、大変な問題でございます。これを今一議会という言葉がいいのかどうか分かりませんが、これを取り扱うということがどうなのか、大変なエネルギーがこれ消耗すると同時に時間も費やす問題でございますので、今ここで我々の任期迫つてる中で、これを協議する時間も余裕もないのでないかということでございますので、一応この日米地位協定は大事な問題ではございますが、一応この大竹市議会基地周辺対策特別委員会では時間もございませんし、取り扱わないという言葉がどうなのかはよくわかりませんが、一応取り扱わないという方向性で皆さんよろしいでしょうか。

○山崎委員 ええことはない。よいかと言われたらよいことはない。委員長。

○網谷委員長 最後にそれじゃ済みません。御意見を。

○山崎委員 取り扱わんということでええか言われりゃ、ええことはないんで、全国市議会議長会でさえ要望書を出しとる状況ですから、何も大竹市議会が扱うことが決していなげなことじゃないんで、むしろ当たり前のことじゃと私は思うんです。そういった意味では、出す出さんということは別の問題として、やっぱり継続して勉強していくということにしたらどうでしょうか。勉強することが政府に対して反抗することでもないし、日米安全保障条約に反対することでもないわけですから、むしろ前向きにそういった問題こそ、この基地周辺対策特別委員会で研究していくことが一番大切なことなんだろうと私は思います。むしろそういうことを避けて通ることの委員会なら、それこそないほうがええと私は思いますんで、ぜひ検討していただくという方向でまとめていただきたいというのが思いであります。

○網谷委員長 まとめていただきたいというの、なかなか難しい言葉ではございますが、また勉強という言葉も物すごい奥の深い言葉でございまして、阿多田地区をこの前訪問させていただきまして、これから大竹市全体のこれだけでも大変な時間がかかろうと思っておりますが、これに持ってきて日米地位協定という大変壮大なテーマをここで挙げますと、大変難しい問題でございまして、一応この日米地位協定に関しての勉強会をしないというわけではございませんが、今ここで、基地周辺対策特別委員会として取り上げるのは大変難しいということで、どういう表現でいいのか私もよくわかりませんが、勉強するというぐらいの言葉でよろしいでしょうか。

ということは、山本委員が言われた資料の確認も、それもなかなか時間的に難しいということで、議論をするというぐらいでおさめていただいたらと思うんですが、よろしいでしょうか。

ということでゼロではございませんが、こういう言葉がえんかよくわからんのですが、それなりの委員の皆さんがこれならどうじゃろうかのいうぐらいのことで、おさめていただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。

なければ。それでは、きょうはこれで終了させていただきます。

本日の日程は全て終了しましたので、基地周辺対策特別委員会は閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。

11時21分 閉会